

2014 年 ILAC 第 18 回総会および関連会議報告

2014 年 10 月 21 日
独立行政法人 製品評価技術基盤機構
認定センター (IAJapan)

1

2 開催日時・場所

2014 年 10 月 8 日～10 月 17 日

於：カナダ・バンクーバー シェラトン ウォール センター

3 日程

10 月 11 日 (土) IAF/ILAC 合同広報委員会(Joint MCC & CMC)

10 月 11 日 (土) ILAC 検査委員会(IC)

10 月 12 日 (日) ILAC 認定委員会(AIC)

10 月 12 日 (日) ILAC 広報委員会(MCC)

10 月 13 日 (月) ILAC 相互承認委員会(ARC)

10 月 15 日 (水) ILAC 第 18 回総会(前半)・ILAC 相互承認評議会(Arrangement Council)

10 月 16 日 (木) IAF/ILAC 第 14 回合同総会・署名式(この報告には含まれていません)

10 月 17 日 (金) ILAC 第 18 回総会(後半)

4 ILAC 総会等概要報告

4.1 出席者

本会合は、国際認定機関フォーラム (IAF) 及び 国際試験所認定協力機構 (ILAC) の各年次総会、合同総会を含め、52 の関連委員会等が開催され、認定機関、各地域協力組織及び ISO/CASCO, IEC/CAB, EC, OIML, UNIDO, BIPM, WADA 等の国際機関の他、認定の利害関係者として適合性評価機関 (CAB: 認証機関、試験所等) も参加する大規模な会合である。日本からは IAJapan 藤間 所長含む 6 名の他、JAB 8 名、VLAC 2 名等の参加があり、約 70 か国・経済地域より 310 名が参加した。

4.2 ILAC MRA 署名機関

ILAC 第 18 回総会で承認された新規加盟機関を含め、2014 年 10 月 21 日時点での ILAC メンバーは次のとおり。

正規メンバー(MRA) : 87 機関 (72 カ国)

準メンバー : 17 機関

関連機関 : 17 機関

地域協力機関 : 6 機関

利害関係機関 : 24 機関

4.3 執行委員会、各委員会議長の改選等について

ILAC 執行委員会メンバーの改選があり、各委員につき 1 名以上の立候補がなかったため、選挙は行われず、2 年の任期で以下メンバーが立候補し、ILAC 総会によって承認された。

ILAC 議長 Peter Unger (A2LA, 米)

ILAC 副議長 Merih Malmqvist Nilsson (SWEDAC, スウェーデン)

ARC 議長 Ileana Martinez (NVLAP, IAAC 議長, 米)

AIC 議長 Regina Robertson (NATA, 豪)

IC 議長 Arne Lund (SWEDAC, スウェーデン)

MCC 議長	John Murthy (UKAS, 英)
JDSC 議長	Liliane Somma (OUA, ウルグアイ)
AMC 議長	Etty Feller (ISRAC, イスラエル)
LC*議長	Steve Sidney (NLA, 南ア) *Laboratory Committee
会計監査委員会議長	Llew Richards (IANZ, ニュージーランド)

4.4 予算、組織変更等

2014年決算及び2015年予算は特に異論はなく承認された。ILAC事務局よりILAC MRAマークの商標登録更新手続きおよび正規メンバーが負担する登録費用について説明があり、本総会で確認しきれなかった疑問点は現在コメント収集のために回付中のILAC R7 ILAC MRAマークの使用に関する文書の修正案に追記するよう要請があった。

4.5 ISO リエゾンおよびISO/CASCO WG 活動

- ISOへのリエゾン手続きが5月に更新され、各リエゾンに周知された
- ISO/CASCO WG 主な活動報告 (※下記の規格改正作業は最長3年間を予定)
 - ① WG42 (ISO/IEC 17011 改正) : Co-convenors は、Cynthia Woodley (ANSI) と Alister Dalrymple (AFNOR)。ILAC を代表して、Jennifer Evans (NATA), Andreas Steinhorst (EA) の2名が本WGメンバーとなり、Sylvia Lin (TAF/APLAC) はILAC リザーブとして指名された。第1回会合は2014年11月11日～13日@ジュネーブで開催される。
 - ② WG44 (ISO/IEC 17025 改正) : 現在、ILAC から Warren Merkel (NVLAP 米)、SABS から Steve Sidney (NLA, 南ア) の2名が Convener としてノミネートされており、第1回会合は2014年12月中旬または2015年1月下旬に予定されている。
 - ③ ISO REMCO/CASCO Joint WG43 ISO Guide 34→ISO化 : REMCO の Convener は Stephanie Trapmann。JWG43 第1回会合は2014年12月9日～11日(暫定)。ILAC は REMCO への ILAC リエゾンオフィサーである Lorraine Turner (UKAS) と He Ping (CNAS) を JWG43 のメンバーとしてノミネートした。また、Lorraine Turner は CAG (Chairman's Advisory Group) メンバーであるため、自動的に REMCO AHG3 のメンバーとなった。

5 各委員会報告

5.1 IAF/ILAC 広報委員会・合同広報委員会 (IAF CMC / ILAC MCC / Joint CMC & MCC)

- ① 2014年世界認定推進の日(WAD) テーマ「認定が支えるエネルギー供給の信頼」広報活動報告 : パンフレットは27か国語で発行され、YouTube 動画は13,705回再生された。
- ② 2015年WAD テーマは「Accreditation: Supporting the Delivery of Health and Social Care」
- ③ Social Media Guidance : ILAC/IAF メンバーがソーシャルメディアアカウントを通じて情報を発信するための指針。現在、85機関のうち25%がSNSアカウントで情報を発信。
- ④ ILAC ウェブサイトリニューアル : 8月にローンチした新サイトはユーザビリティが向上され、今後はメンバー専用ページでオンライン投票およびコメント機能を追加する予定。
- ⑤ IAF CMC / ILAC MCC 中間会合 (予定) : 2015年4月22日～24日@ワシントン DC

5.2 ILAC 検査委員会 (IC)

- ① ILAC Taglineへ Inspection を追加要請→global trust Testing - Calibration – Inspection
- ② 新規検査分野 : ハラル、鉄道分野のリスクアセスメント、ヘルスケア、ケアプロバイダなどが議論された
- ③ 現議長 Lal Ilan (UKAS) → 新議長 Arne Lund (SWEDAC)
- ④ IC 中間会合 (予定) : 2015年4月12日@フランクフルト

5.3 ILAC 認定委員会 (AIC)

- ① ISO/IEC 17025 の改正作業に向けて、ISO/CASCO WG44 における ILAC の代表者 2 名をサポートすることを目的として、Joint ILAC AIC/LC Working Group の設立が提案された。同 JWG の Terms of Reference (ToR) 草案を作成するため、Zhang Mingxia (CNAS) が暫定 Convener として担当することとなった。
- ② ISO/DG33:2014 の制定や ISO/G34:2009 の改正が今年 12 月に開始されるため、該当する RMP 関連の ILAC 文書をレビューする必要がある。
- ③ AIC 中間会合 (予定) : 2015 年 4 月 9 日～10 日@フランクフルト
- ④ PTWG (ILAC AIC WG12) : 2015 年 4 月 11 日 (08:30-12:00) @フランクフルト

5.4 ILAC 相互承認委員会 (ARC)

- ⑤ WG2 : P4, P5 について進捗状況の報告があり、P11 は IAF/ILAC 合同文書である A シリーズでカバーされるため、当該文書が発行された時点で **Withdrawn** となる。
- ⑥ WG8 : 越境認定の現状を把握すべく ILAC メンバーを対象としたアンケートの設問案が 10 月末期限で ARC メンバー宛にコメント回付中。ARC メンバーのコメントを反映した最終版が ILAC メンバー宛に送付される予定。
- ⑦ WG9 : 自然災害など非常時における認定機関の対応について指針をまとめた **Management of extraordinary events** が文書発行の投票のために 30 日間回付される予定。
- ⑧ WG10 : ILAC メンバーが技術的ではない理由で ILAC が定める規定に準拠しなかった際にメンバーシップの **Suspension** や **Termination** を定める文書の作業を行う新しい WG
- ⑨ WG11 : ISO/IEC 17011 改正作業にともない、ILAC を代表して ISO CASCO の WG 会議に参加し、作業を行うメンバーをサポートする新しい WG。各国を代表して 29 名の **delegates** が ISO/IEC 17011 改正のエキスパートとして指名されている (ISO TC176)。
- ⑩ PTP ならびに RMP を ILAC MRA として新たに追加する決議案を総会に提出することで合意。数名のメンバーが RMP について不明確な根拠で反対する場面があったが、決議案を提出することとなった。決議案の結果については後出参照。
- ⑪ 中間会合 (予定) : 2015 年 4 月 11 日@フランクフルト

6 主な ILAC 総会決議事項

- a) 総会は下記の 3 機関のメンバーシップに関する投票結果を承認した。
 - ① GCC Accreditation Center (GAC), サウジアラビア : 準メンバー
 - ② National Accreditation Agency of Ukraine (NAAU), ウクライナ : 準メンバー
 - ③ Industrial Research Institute (IRI), レバノン : 利害関係機関
- b) 総会は豪の NATA が ILAC 事務局を 2016 年 1 月から 4 年間担当するための調整を開始するという ILAC 執行委員会の推薦を受け、承認した。
- c) 総会は ILAC 執行委員会による推薦を受け、ILAC 年会費手続きおよび ILAC MRA マーク登録手続きを承認した。
- d) 総会は ARC の推薦を受け、「技能試験提供者 (PTP)」を ILAC MRA として拡大し、相互評価に関する ILAC 文書が完了し次第、認定機関による申請の受け入れを開始することを承認した。
- e) 総会は ARC の推薦を受け、「標準物質生産者 (RMP)」を ILAC MRA として拡大し、相互評価に関する ILAC 文書が完了し次第、認定機関による申請の受け入れを開始することを承認しなかった。
- f) 総会は 2 年間の任期で執行委員会および各委員会に立候補しているメンバーを承認した。4. c) 「執行委員会、各委員会議長の改選等について」を参照。

7 今後の会議開催予定

2015年 ILAC AIC, ARC, PTWG, IC 中間会合 4月9日～16日フランクフルト

2015年 ILAC/IAF 広報委員会中間会合 4月22日～24日@ワシントン DC

2015年 ILAC 第19回合同総会 10月28日～11月5日ミラノ (ホスト機関: ACCREDIA)

2016年 ILAC AIC, ARC, PTWG, IC 中間会合 4月 (予定) 開催地未定

2016年 ILAC 第20回合同総会 10月下旬 ニューデリー (ホスト機関: NABL・NABCB)

2017年 ILAC 第21回合同総会 10月 (予定) 開催地およびホスト機関未定

8 所感

ILAC 相互承認委員会 (ARC) が推奨した ILAC MRA のスコープ拡大決議案 2 件のうち、技能試験提供者 (PTP) は承認されたものの、一部の地域協力機関の強い反対を受け、本総会では標準物質生産者 (RMP) が承認されなかったことが残念であった。